



とらいあんぐる



2021 年 3 月

一音会ミュージックスクール発行

「サクラ」

今回は、個人的なことを書きます。

と、宣言してみても、今まで個人的じゃないことなんて、書いたことがないことに気づきました。

母のこと、私の子ども時代のこと、私の身近なできごと、私の娘のこと…。

皆さまには、私のつまらない個人的なエピソードに、いつもおつきあいいただいています。

今回は、めずらしく、息子のことを書きたいと思います。

私の息子は、つい最近まで、受験生として過ごしていました。受験生の生活は、実は2年目です。

高校3年生の時の受験では、思いが果たせず、浪人生活を送っていました。

この1年間の浪人生活は、私の想像をはるかにこえて、たいへんな日々でした。

「こんなにたいへんだと、あらかじめ知っていたら、浪人なんかさせなかった。反対すれば良かった」

正直、何度もそう思いました。

1年前の私のセリフを思い出します。

「いいじゃないの。浪人したって。もう1年、思い切り、がんばってみたら？ 長い人生、1年くらい、立ち止まったって、それはそれで良い経験よ」

1年前、そういつて鷹揚に笑ってみせた私は、何も分かっていない人でした。

理解ある母親を演じたかった、ただのおバカさんだったのかもしれない。

高校3年生の1年間は、受験生とはいえ、そうたいへんな1年ではなかったのです。だから、もう1年同じ生活をするくらい、なんでもないと、思っていました。



ところが、浪人生活のこの1年には、思いがけず苦しめられました。

想定外だったのは、その背後に常に、新型コロナがあったことです。

ただでさえ孤独な浪人生活が、コロナのせいで、さらに孤独な生活になり、心が不安定になっていました。

でも、一番たいへんだったのは、いよいよ受験が間近になった時期に、「第三波」が来たことです。

もし、受験生本人が感染したら・・・と考えます。考えるだけでおそろしいことです。

共通テストだけは、感染の疑いがある受験生のために、別日程が設けられていましたが、それ以外の受験には、そうした救済措置はありません。

感染したら、受けられません。

「はい、また来年！」なのです。

それどころか、発熱だけでもダメなのです。

発熱などの症状があった場合、医療機関のPCR検査で陰性が出たら、受験

できますが、その頃は検査も混んでいて、そんなにすぐには検査を受けられません。受けても結果は、すぐには出ません。

実際のところ、全然、受験に間に合わないのです。

最大限、注意をして、感染防止にとめます。考えても考えても、できることは、それしかありません。

ですが、どんなに気をつけていても、不安はぬぐえません。

気をつけていても、コロナになってしまうことはあります。そもそも、コロナになりたくてなっている人はいません。

もしも・・・もしも・・・気をつけていてもコロナになってしまったら。

たいへん残念ですが、受験はあきらめます。

そこは、迷うところではありません。だって、そうするしかないのですから。

生徒さんの中でも受験生の方はいらっしゃいました。

かかわったご家族の方で、今、これをお読みになっている方も、多くいらっしゃるでしょう。

そういう方はおそらく、こうも考えたはずです。

「今、自分がコロナに感染したらどうなるのだろう？」

「本人以外の家族がコロナを発症したらどうなるのだろう？」とも。

今は少しルールが変わっているかもしれないませんが、受験期の1月のルールは、こうでした。

受験生が、感染者の濃厚接触者にあたる場合は、受験不可。

ひらたくいいおしますと、「受験生の家族がコロナになったら、その子は受験できない」ということです。

本人が、元気で無症状であっても、ダメなのです。

当然、私もいろいろ考えてしまいました。

悪い事態のシミュレーションは得意です。

ユメキ（息子）の受験直前、私が熱を出したら、どうしたら良いだろう？

ユメキ本人の場合は、会場で熱を測られてしまうので、検査を受けるしかない。

でも、私は？

私は検査を受ける？

ほんとに？

ほんとに受けるの？

ほんとに受けて良いの？

検査で陽性だったら？

私が陽性だったら、ユメキも検査しないといけない・・・

検査結果は受験に間に合わないから、受験ができない・・・

ということは・・・

私が陽性と分かった時点で、受験ができない・・・

検査しなかったら？

検査しなければ、何もおこらない？

検査しなければ、私がコロナかもしれないということは、誰にも知られない。

コロナであっても、検査しなければ良い？

いやいやいやいや、ダメでしょ！

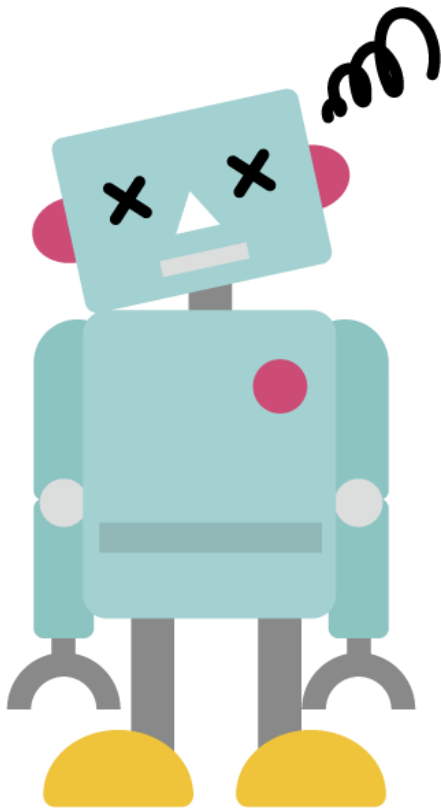
それはダメだ・・・

人としてダメだ・・・

でもほんとに？

私がコロナになったせいで、ユメキが受験できなくなったら？

困る、すごく困る・・・



本人がコロナならともかく、私がコロナになったせいで、っていうのは、ちょっと・・・

あ！ 熱が出たとしても、気がつかなかったことに・・・

いや、ダメでしょ！

人としてダメでしょ！

でも、症状が出たら、誰にも会わないで、一人で部屋にこもっていたら？

誰にも会わなければ、誰かにうつすこともないし・・・

それで、コロナで死んでもかまわない！

私のせいでユメキの受験がダメになるくらいだったら、一人でひっそり死んじゃおう！



もう、心の中がまっくろです。

最後は、コロナになっても検査をしないで、一人ひっそり死ぬ、という、とんでもない結論になっています。

今思うと、私は頭がおかしくなっていたと思います。それは、渦中にいたからです。

今は、受験が終わり、精神状態も正常になりました。

今なら、おそらくこういえてしまうのです。

「たかが受験じゃないか。コロナになったら、2浪したらいい。それだけのこと」

でも、そういえるのは、今だからなのです。

今はもう、渦中にいないから何とかもいえるのです。

私はこの数か月、受験生の親として、おかしくなった頭をかかえながら、過ごしてきました。

ふと、私自身の受験生時代を思い返します。

私が受験生だった時、私の母は本当にのんきでした。私の受験のことは何ひとつ把握していませんでした。

受験の日程や科目などを伝えても、そこまでの興味はないらしく、すぐ忘れてしまうのでした。

母は、高校から音楽高校に進学した人ですので、一般の大学を受験した経験がありません。何を話しても、ピンとこないようでした。

いつが受験日であるかも、把握していませんでした。

試験当日も、「あら、でかけるの？どこいくの？」と、ニコニコしながら、きいてきます。

いいなあ、お母さんのはのんきで……。

今日が受験だということを伝えても、母のセリフはいつもと変わりません。

「車に気をつけてね」

もっと受験に関連したアドバイスはないのか？と思いますが、母にそれを期待することが間違いです。

受験から帰っても、試験の話は一切出ませんでした。

「寒かったでしょう？ ほら、はやくストーブにあたりなさい」

それだけです。

今日が試験日だったことも、おそらく忘れていきます。

すっかり拍子抜けしてしまいます。



その話を、つい最近、夏目先生にしました。私はユメキの受験にこれだけ苦しめられたのに、私の母は受験日さえ知らず、のんきだった、うらやましい、という話です。

夏目先生は、1点を見つめ、何かを思い出しているようでした。

そしていうのです。

「それはウソですよ」

夏目先生は、私が受験生だった時、私の母と連日、仕事をしていた人です。

「江口（寿子）先生は、アヤコさんの受験を、ものすごく心配していましたよ。毎日、毎日、そのことばかり話していました。心配のあまり、眠れていないようでした。アヤコさんの受験の日が近づくにつれ、江口（寿子）先生の顔色が悪くなるので、私たちはすごく心配していました。はやく終わってほしいと思っていましたから、アヤコさんの受験日は、一音会じゅう、みんな知っていましたよ」

衝撃的な事実でした。

私は未熟な母親で、子どもの受験にふりまわされっぱなしでしたが、私の母も同じであったと知り、なんだかストンと納得がいった心持ちです。

子どもの受験で、神経をすり減らさない親なんて、存在しないのかもしれませんが。

いわれてみれば、受験日を知らないフリをするなんて、演技が過剰です。

国立大学の入試はニュースになり、テレビのニュースでも散々いつているのに！

気にかけていないフリをすることが母なりの気づかいであったことを、母が死んで10年近くたって、はじめて知ることになりました。

確かに、母が頼りないために、頼れない心細さはありませんでしたが、プレッシャーが、一切なかったことも事実です。

万が一、不合格になっても「あら？ そうなの？ で、どこを受けたの？」といいそうでした。

全然ガッカリしないで、「ざんねんねえ。それより、おせんべいでも食べない？」といいそうでした。それはとても気が楽でした。

分かりにくい気づかいでしたが、生きていたら「ありがとう」と伝えたかったです。

受験に合格することを、「サクラサク」といいます。

今年も、たくさんのサクラが咲いたことでしょう。

サクラはいつも美しい。

どこで咲いても美しい。

どんな咲き方をしたって、美しい。

咲いても散っても美しい。

日本中のたくさんのサクラと、それを支えたご家族の皆さまに、今、心から「おつかれさまでした」と申し上げたいと思います。

母のお墓の近くの江戸川沿いに、見事な桜並木があります。今年の桜の景色は、心にしみる景色になるでしょう。

(江口 彩子)



江戸川の桜

◆「ピアノ・トライ」、「ル・コンセール」、「フォルテの会」に、ご協力をありがとうございました

すべてがコロナ仕様となり、例年と違うことが多く、生徒さんやご家族の皆さまには、多くのご面倒をおかけしてしまいましたが、どのイベントも大成功だったと思っています。いうまでもなく、皆さまのご協力の賜物です。

今年の「ピアノ・トライ」の動画提出方式は、一長一短であったと思います。コロナの感染状況次第ではありますが、来年はできれば、従来式の対面式「ピアノ・トライ」を復活させたいと思っています。ただ、動画提出方式を高くご評価くださる意見も、多くの方からいただいています。動画提出の形を選択肢として残し、ご希望の方にお選びいただけるようにすると良いのかもしれませんが、また、来年の状況に見合ったベストな形を、ご提案したいと思っています。

「ル・コンセール」は、YouTube 配信式、対面式の2通りから、お選びいただきました。若干、対面式をお選びになった方が多かったようですが、ほぼ半数ずつとなりました。それぞれの方にとって良い方をお選びいただけたのは、本当に良かったと思います。

「フォルテの会」は、無観客開催とし、YouTube 配信をさせていただきました。そのような形でもご参加をお決めくださった皆さまに、深く感謝しています。来年はぜひ、たくさんのお客さまの前で発表していただけますよう祈っています。



3月14日（日）には、非公開の形で、「第15回・ジュニコン・オーディション」を開催します。映像を、遠くアメリカにいる客員教授のプリドノフ先生ご夫妻に届け、審査していただきます。これも、初の試みです。

思えば1年前、未知のウイルスの脅威にさらされ、大きな不安を抱えましたが、皆さまのご理解とご協力に恵まれて、こうして1つ、1つ、新しいやり方に挑戦することができたことにより、新しい視点、新しいアイデアを得ることができました。

すべてに感謝しています。ご協力、本当にありがとうございました。

◆「第15回ジュニア・コンサート」を開催します

「ジュニコン・オーディション」の結果、選抜された生徒さんによる「ジュニア・コンサート」を、4月27日（火）夕方、「ゆめりあホール」で開催いたします。

昨年は、「ゆめりあホール」が貸し出されないことになって、急きょ、「ひびきホール」で無観客ライブ配信となりましたが、今年は本来の形で、開催できると思います。

また、ポスター等で、詳細をお知らせいたします。

感染防止につとめ、安全な開催をお約束いたしますので、どうぞ皆さま、足をお運びください。



◆新年度時間割をお組みしています

新年度希望表のご提出に、ご協力をありがとうございました。現在、みなさまからお出しいただいた希望表をもとに、4月からのレッスン時間割を作成しております。

曜日、時間帯、コースについて、変更を希望された方の多くには、時間割に関するご相談のメールやお電話を差し上げているところだと思っております。少しでも、お一人お一人の生徒さんのご都合にかなう時間割となるよう、努力を続けております。

しかし、物理的にご希望をかなえることが難しい場合もあり、その点は、どうかご理解ください。たとえば、曜日や時間帯を変更される場合、以前からその日時にレッスンを受けていらっしゃる生徒さんが優先されます。そのため、「そのままの担当で」とご希望をいただいても、同じ担当でお組みできるとはかぎりません。

お忙しいご家族の方が増えていると感じますため、できるかぎりお電話ではなくメールで、用件をお伝えしたいと思っております。ただ、お使いの端末が未登録のアドレスからのメールをブロックしてしまったり、迷惑メールとして処理してしまったり、ということがあります。迷惑メールのフォルダを定期的にチェックしていただけますと幸いです。

メールが届かない場合や、なかなかご返信がいただけない場合は、お電話をさしあげることをございます。お留守だった場合、留守番電話の設定をしてくださっている方には、極力、メッセージを残すようにしています。お手数ですが、ご確認をお願いいたします。

また、最近は留守番電話の設定をしていらっしゃる方も多く、なかなか用件をお伝えできない場合もあります。着信をごらんになって、可能なら本部まで折り返しお電話いただけますと、たいへん助かります【本部：03-5966-7711】。

メールでも電話でも、先にご連絡がついた方から、ご希望が通る形になります。

同じ時間帯、同じ担当で希望される生徒さんが2人以上いらした場合は、同じ条件であれば先に連絡をくださった方から決まっていきますこと、ご了承ください。お

忙しい中、申し訳ございませんが、何らかのご返信を、おはやめにいただきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

以前にお出しくださった変更希望表に変更が出た場合にも、なるべく早く、ご連絡ください。

◆新時間割をメール・電話でお知らせします

新時間割は、新年度からの担当が、3月27日(土)または28日(日)に、電話またはメールで、皆さまにお知らせします。メールをごらんになりましたら、お手数ですがごらんになった旨のご返信を、よろしくお願いいたします。

もし、3月30日になっても何も連絡がいかない場合は、何かの手ちがいが起きているかもしれませんので、お手数ですが、生徒さんのほうから、本部まで、お電話ください。

この期間、ご旅行などでお留守にされる生徒さんは、モバイルのメールアドレスか電話番号を、事前にお知らせください。



◆引き続き、感染防止につとめましょう

日本でもワクチン接種がはじまりましたが、生徒さんや、ご家族の皆さまのところまで順番がまわってくるのは、まだまだ先になりそうです。陽気が春めいてきますと、開放的な気分になりますが、引き続き、油断なく感染防止にあたりたいと思っています。

今年の対面式「ル・コンセール」は、なんと欠席者がゼロでした。例年、インフルエンザも流行期にあたる時期、考えられないことです。教室でのレッスンでも、この冬は、ご病気でご欠席になるからが非常に少なく、感染症対策がとても有効に働いていることを実感します。

このまま皆で、元気にのりきりしましょう。



◆今年のサクラ

今年も、音楽系の進学を果たされた生徒さんがいらっしゃいます。皆さん、第一志望に見事合格です。この場をかりて、お祝いを申し上げます。

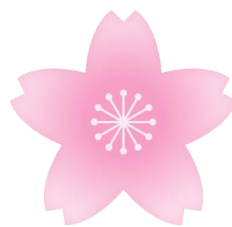
合格、おめでとうございます！

東京音楽大学 (ピアノ専攻) 1名

東京音楽大学 (音楽文化教育専攻) 1名

桐朋学園大学 (ピアノ専攻) 1名

東京学芸大学教職大学院 (教育実践専門職高度化専攻) 1名



◆新年度のレッスン開始日

新年度最初のレッスン日は、次のようになります。

月曜日・・・・・・・・ 4月12日

火曜日・・・・・・・・ 4月 6日

水曜日・・・・・・・・ 4月 7日

木曜日・・・・・・・・ 4月 8日

金曜日・・・・・・・・ 4月 9日

土曜日（毎週）・・・・ 4月10日

土曜日（偶数週）・・・・ 4月10日

土曜日（奇数週）・・・・ 4月17日

日曜日（月1回）・・・・ 4月18日

日曜日（月2回）・・・・ 4月11日

日曜日（月3回）・・・・ 4月11日



みなさま、良い春休みをお過ごしください。新年度も、引き続き、どうかよろしくお願いたします。

*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp

電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。